



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	20,902.98	44.79	0.21	-0.49	5.77	19,762.60
NASDAQ	5,861.73	22.92	0.39	-0.15	8.89	5,383.12
日経225	19,604.61	286.03	1.48	0.70	2.56	19,114.37
上海総合	3,212.76	-3.99	-0.12	-0.17	3.52	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,427.89	0.95	0.03	0.00	3.56	3,310.08
ハンセン	23,568.67	67.11	0.29	0.07	7.13	22,000.56
H株	10,069.10	-26.69	-0.26	-0.74	7.18	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.1%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は0.2%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.1%高と小幅ながら3週ぶりに反発した。5日に開幕した中国の全人代での政策期待を背景に週前半は堅調に推移し、ハンセン指数は8日まで3日続伸。ただ、3月の米利上げ観測が高まるなか、利上げの判断材料となる米雇用統計の発表を週末10日に控えて徐々に警戒感が強まり上値を抑えた。本土市場では上海総合指数が週間で0.2%安と小幅ながら続落。週初は堅調に推移したものの、その後は利益確定売りに押される展開となった。9日発表の物価統計も嫌気された。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、米利上げペースが焦点に

香港市場は神経質な展開か。先週末に発表された米雇用統計が堅調な内容だったことから3月の米利上げが確実視されるなか、市場の焦点は今後の利上げペースに移っている。今後の利上げに前向きな姿勢が示されれば資金流出懸念が強まる公算が大きく、香港市場にとってはマイナス材料。14日発表の中国の経済指標が堅調な内容なら相場の支援材料となりそうだが、15日の全人代閉幕で材料出尽くし感が強まる可能性もある。本土市場も経済指標の発表や李克強首相の記者会見を控え神経質な展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	11.92	11.40
2 ワーフ(00004)	67.65	9.73
3 中国海外発展(00688)	24.05	3.22
4 AIAグループ(01299)	50.30	2.65
5 恒隆地産(00101)	19.92	2.57
6 テンセント(00700)	212.40	2.51
7 チャイナ・ユニコム(00762)	9.55	2.47
8 サンス・チャイナ(01928)	33.80	1.96
9 香港鉄路(00066)	41.75	1.71
10 キャセイ・パシフィック(00293)	11.50	1.41

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国神華能源(01088)	15.44	-3.86
2 CNOOC(00883)	8.83	-3.39
3 昆侖能源(00135)	6.76	-3.01
4 ペトロチャイナ(00857)	5.68	-2.91
5 信和置業(00083)	13.22	-2.79
6 百麗国際(01880)	5.15	-2.46
7 長江インフラ(01038)	62.00	-2.44
8 シハック(00386)	5.80	-2.36
9 Link REIT(00823)	51.30	-2.01
10 電能実業(00006)	67.70	-1.88

▼今週の期待材料

- ◆14日に中国の主要経済指標が発表に、堅調な内容が確認されれば相場を支える要因に
- ◆IMFのライス報道官、中国の17年経済成長率目標6.5%前後について達成可能との認識を示す
- ◆香港上場企業の決算発表が本格化、市場予想上回る発表が続けば投資家心理改善につながる公算

▼今週の懸念材料

- ◆FOMC、オランダ議会選挙、李克強首相の記者会見など重要イベント続く、結果発表を前に様子見ムードも
- ◆先週末発表された2月の米雇用統計を受けて3月の利上げがほぼ確実な情勢、資金流出への警戒感が強まる公算
- ◆中国人民銀行がやや引き締め気味な金融政策を継続、周小川行長は非金融企業の債務水準に警戒感示す

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 裕元工業 (00551) : 2月の純売上高は4%増の5億8500万米ドル、1-2月は1%増
- ☆ 華潤電力控股 (00836) : 2月の電力販売量は10%増と堅調、1-2月は1.5%増
- ☆ 華潤セメント (01313) : 16年本決算は31%増益、コスト減で粗利益率改善
- ☆ 中国広核電力 (01816) : 15日に16年本決算を発表、市場予想は11%増益
- ☆ 中国ガラス (03300) : 16年本決算は黒字転換の見通し、市況持ち直しで利益率改善
- ☆ 中国建築国際 (03311) : 1-2月の新規受注額が22%増加、通期目標達成率は21%
- ★ 越秀地産 (00123) : 2月の不動産販売額が11%減少、販売面積は50%減
- ★ キャセイ・パシフィック (00293) : 15日に16年本決算を発表、市場予想は98%減益
- ★ チャイナ・ユニコム (00762) : 15日に16年本決算を発表、市場予想は94%減益
- ★ 華潤置地 (01109) : 2月の不動産販売額が4%減少、販売面積は12%減と苦戦

▼今週の主なイベント

- 3月14日(火)
- 【中国】小売売上高、鉱工業生産、固定資産投資(1-2月)
- 【米国】FOMC(15日まで)
- 3月15日(水)
- 【中国】全人代閉幕、李克強首相記者会見

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。